



▲学習会の様子



▲クマの毛皮などに触れている様子

智頭小学校1年生の児童37人を対象に、クマ学習会を開催しました。(講師(株)野生動物保護管理事務所)

スライドを使用した学習会で、ツキノワグマの生態や、万が一ツキノワグマに出ってしまった時の対処法などを学びました。そのほかにも、ツキノワグマの毛皮や頭蓋骨の標本を見たり、触れたりする機会もあり、子供たちは興味津々で、講師への質問も活発に行っていました。

本学習会に参加した教員からは「子供たちを少しでもクマから守るために、こういった学習会を毎年行ってほしい。」との要望もありました。

町は、この事業に併せて、毎年、智頭小学校新1年生に「クマ鈴」を配布しており、この学習会により、クマ鈴を配布する意義等を理解してくれたと思います。今後も引き続き、クマ対策に関する取組を続けていきます。

〈学習会の内容概略〉

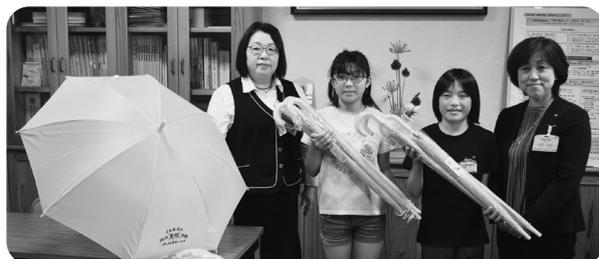
- 基本的にクマは臆病な生き物なので、人の気配を察知したらクマの方から去って行くことが多い。クマの生息域に入る時は、クマ鈴やラジオなどにより、まずは出合わないようすること。
- 万が一出ってしまった場合は、慌てず、騒がず、クマの動きを監視しながら後ずさりしてその場から立ち去ること。
※ただし、クマの動きは予見が難しく、これらはあくまでも生存率を高める行動です。
- 人にとっては、食べられないものでもクマにとっては餌となることがあるため、放置している果樹を撤去する、野菜クズなどを畑などに捨てないようにすることが大切。

ガイナレ鳥取サッカーフェスタ @智頭町が開催されました



智頭農林高校グラウンドにて、ガイナレ鳥取の選手によるサッカー教室が開催されました。この日は、ガイナレ鳥取から井岡 海都選手、牛田 援選手の2人が、智頭FCの子供たちにサッカー指導を行いました。ボールを使った鬼ごっこ、選手にキーパーになってもらったのシュート練習、ガイナレチーム対智頭FCのドリームマッチなどが行われました。子供たちは憧れの選手から指導を受け、キラキラと輝く笑顔で楽しんでいる様子でした。

JA とっとりいなば智頭支店から 智頭小学校に傘が贈呈されました



JA とっとりいなば智頭支店から、智頭小学校に20本の傘が贈呈されました。この贈呈は地域貢献活動の一環として毎年行われており、今年で4回目となります。

智頭小学校の矢部佳子校長先生は、「ちょうどこれから梅雨の時期を迎えるので、登下校を安全に行うためにしっかりと活用していきたい。」との言葉がありました。また、生徒代表で贈呈を受けた6年生の門脇明日香さん、北後健介さんは、「長く使えるよう、大切に使っていきたい。」とコメントしました。